

作成日 2026 年 5 月 18 日
(最終更新日 20 年 月 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2026-1-362

課題名 : 炎症性腸疾患患者における TL1A 遺伝子ハプロタイプ研究

1. 研究の対象

下記の研究において東北大学あるいは九州大学から参加した方が対象です。

- ・ 2022 年 3 月から 2026 年 5 月までに東北大学病院を責任施設として行った多施設共同研究「課題名 : 日本人炎症性腸疾患患者を対象としたマルチオミックスコホート解析およびバイオバンク構築 (IBD-MOCHA)」に参加した方
- ・ 2015 年 10 月から 2022 年 3 月までに、東北大学病院を責任施設として行った多施設共同研究「課題名 : 炎症性腸疾患患者におけるチオプリン関連副作用と NUDT15 遺伝子多型との相関性に関する多施設共同研究 (MENDEL Study)」に参加した方
- ・ 2014 年 2 月から 2022 年 3 月までに東北大学病院で実施した「課題名 : 日本人炎症性腸疾患の感受性遺伝子の同定および、遺伝背景・病態・組織学的所見からみた新たな疾患分類の検討」に参加した方

2. 研究期間

2026 年 7 月 (研究実施許可日) ~2027 年 7 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当機関で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2026 年 8 月 15 日

提供開始予定日 : 該当なし

4. 研究目的

本研究では、日本人の炎症性腸疾患、つまり潰瘍性大腸炎やクローン病の患者さんを対象に、TL1A (TNFSF15) という遺伝子のタイプ (ハプロタイプ) の違いを調べます。人の遺伝子には少しずつ違いがあり、この研究では TL1A 遺伝子の違いを、いくつかのタイプに分けて考えます。そして、それぞれのタイプを持っている人、または持っていない人が、日本人の炎症性腸疾患患者さんの中にどのくらいいるのかを調べます。この研究は、TL1A 遺伝子のタイプの違いが、炎症性腸疾患の病気の特徴や治療の違いと関係しているかを調べることを目的としています。将来的には、患者さん一人ひとりに合った治療を考えるための手がかりになる可能性があります。

5. 研究方法

本研究では、これまでの研究で集められている日本人の炎症性腸疾患患者さんの遺伝子のデータや病気の状態に関するデータを使います。まず、TL1A (TNFSF15) という遺伝子について、いくつかの遺伝子の違いをもとに、患者さんがどのハプロタイプを持っているかを推定します。本研究では、複数の分類方法を用いて解析を行い、それぞれのハプロタイプを持つ人、または持たない人がどのくらいいるかを調べます。その分類結果が一定の基準を満た

すことが確認できた場合には、東北大学と九州大学のデータを合わせて、さらに詳しい解析を行います。

詳しい解析では、ハプロタイプの違いと、病気の特徴との関係を調べます。たとえば、病気の重症度、病変の範囲、合併症の有無、手術歴、治療内容、治療をどのくらい続けられたかなどとの関係を検討します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：過去に解析された遺伝子情報、病歴、治療歴 等

（取得の方法：過去に実施された上記「1. 研究の対象」に記載の研究において、すでに取得・保管されているデータを二次利用します。）

試料：使用しません

7. 外部への試料・情報の提供

個人単位のデータは外部へ提供されません。統計的に加工された結果のみ、共同研究先である中外製薬株式会社へ提供されます。

8. 研究組織

東北大学大学院医学系研究科 角田洋一

中外製薬株式会社 山下 勝久

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

当機関では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は中外製薬株式会社との共同研究費です。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究における企業等との利害関係に追加・変更が生じた場合は、所属機関において利益相反の管理を受けることにより、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者に不利益が生じることはありません。

当機関における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東北大学病院 消化器内科 内藤 健夫

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

連絡先：022-717-7171

当機関の研究責任者：東北大学大学院医学系研究科消化器病態学分野 角田洋一

研究代表者：東北大学大学院医学系研究科消化器病態学分野 角田洋一

試料・情報の管理について責任を有する者：東北大学大学院医学系研究科消化器病態学
分野 角田洋一

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1) 以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合